

2026年度・福祉事業自己評価

障害児者（居宅介護、移動支援、日中一時支援、相談支援）

合同会社リミットブレイク

ケセラセラ

総合点

391 / 620点

実地日：2026年3月

<https://lb.777.cx/>

集計

評価できる2点、大凡できる1点、出来てない0点

カテゴリ1 リーダーシップと意思決定	63 / 16*5	備考
①事業所が目指していること（理念、基本方針、社訓など）を明示している	10	
②事業所が目指していることについて、職員の理解が深まる取り組みをしている	7	
③事業所が目指していることについて、利用者や家族などの理解が深まる取り組みをしている	4	
④重要な意思決定や判断に迷った時に事業所が目指していることを思い起こすことが出来る取り組みをおこなっている（会議、申送り、朝礼）	9	
⑤経営層は自らの役割と責任を職員に伝えている	9	
⑥経営層は自らの役割と責任に基づいて行動できている	8	
⑦各役職は自らの役割と責任を職員に伝えている	6	
⑧各役職は自らの役割と責任に基づいて行動できている	10	
	0	
	0	
カテゴリ2 社会的責任	20 / 18*5	備考
①福祉サービスに従事するものとして、守るべき法、規範、倫理（個人の尊厳）など明示している	8	
②福祉サービスに従事するものとして、守るべき法、規範、倫理（個人の尊厳）などを理解し厳守している	8	
③事業所の機能や専門性は、地域の人に還元している（施設の開放、一般相談など）	1	
④地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかしたイベント企画、研修の開催、講師派遣、啓発活動などを行っている	1	
⑤地域の人を含めた防災訓練を開催したり、町内会や子供会などと連携して防災訓練をおこなっている	0	
⑥防犯設備の設置や防犯活動への参加をおこなえている	2	
⑦災害時の施設開放やAEDの設置などを公開している	0	
⑧地域のネットワークに参画している	0	
⑨地域の課題について、協力して取り組んでいる	0	
	0	
カテゴリ3 利用者意思、地域・事業環境の把握	38 / 16*5	備考
①苦情解決制度を利用できることや、事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	9	
②利用者一人一人の意見・要望・苦情に対する解決策をとっている	9	
③地域の福祉ニーズの収集を行えている（町内会の参加、近隣への聞き取り）	0	
④他の福祉事業全体の動向の情報収集を行えている	4	
⑤虐待防止・差別防止の啓発や障害福祉の認知・流布に貢献している	2	
⑥地域の学区や町内会を把握している	3	
⑦最寄りの交番や消防署・学校や町内会館、避難場所などを把握している	5	
⑧避難経路やハザードマップを職員及び利用者は把握している	6	
	0	
	0	
カテゴリ4 職員と組織の能力向上	77 / 18*5	備考
①職員一人ひとりの能力向上、目標などを把握している	10	
②事業所の人材育成計画、制度を職員は理解し利用している	10	
③個人別の育成計画（研修、資格取得）を策定している	10	
④個人別の育成計画の結果を確認し、育成に役立ったかを確認している	6	
⑤Off-JTとして自立支援協議会などの新人研修・中堅研修などに参加している ※OJTは「実戦力」を養う現場主導の教育、Off-JTは「体系的な知識」を学ぶ研修	6	
⑥OJTとして社内実践研修・訓練を行えている	8	
⑦サービス提供利用単位や単価、自己負担上限などを把握している	8	
⑧ヒヤリング、モニタリング、アセスメントを適切に行っている	10	
⑨第三者にもわかるような支援計画の作成が出来ている	9	
	0	

カテゴリ5 職務把握、サービスの向上努力（連携）	62 / 16*5	備考
①利用者の使っている相談支援員と連携が出来る	10	
②利用者の使っている訪問看護と連携が出来る	7	
③利用者の通っている医院・主治医を把握している	10	
④利用者のアレルギー、服薬内容、その効果や禁忌となる薬を把握している	8	
⑤利用者から聞き取り・記録を行い、必要に応じて代弁したりサマリーを作成したりしている（病院・行政機関・相談支援・家族あて）	9	
⑥上司、家族、医療機関、行政機関など緊急時の連絡先を把握し報告手順を理解している	9	
⑦利用者の平熱や通常血圧、持病などを把握している	5	
⑧車両保険、損害賠償保険、サイバー保険、健康保険などの仕組みを理解し活用できる	4	
	0	
	0	

カテゴリ6 職務把握、サービスの向上努力（緊急）	26 / 12*5	備考
①てんかん発作時の対応マニュアルがあり、実践できる	0	
②過呼吸発生時の対応マニュアルがあり、実践できる	0	
③意識不明や事故発生時の心身緊急対応マニュアルがあり、実践できる	5	
④AEDや救急箱、消火器の場所を把握し、適切に使うことが出来る	5	
⑤災害時対応マニュアルがあり、訓練をおこなっている	7	
⑥サービス開始遅延時及び緊急的な延長時の連絡方法や対策が出来る	9	
	0	
	0	
	0	
	0	

カテゴリ7 職務把握、サービスの向上努力（平時）	105 / 28*5	備考
①運転技術向上の工夫や練習を日ごろから行っている	8	
②車両備品の点検を行っている（マスク、傘、軍手、エチケット袋など）	9	
③車両点検を日常的に行っている	8	
④防犯カメラや消火器など防犯や緊急時に対応できるように点検できている	6	
⑤設備、備品を大切に扱い整理整頓できている（パソコン内フォルダ整理なども含む）	9	
⑥利益向上を心がけ、職員のやる気向上と利用者への還元を意識している	8	
⑦定期的に利用者の基本情報を確認・更新し理解を深めるように務めている	10	
⑧身体介護の練習や意見交換を定期的に行っている	1	
⑨利用者との接し方（メンタルケア）について日常的に意見を交換できている	9	
⑩職員は職務中に社員証、名刺、事業所案内、筆記用具などを常備できている	9	
⑪職員は自ら希望する研修などに参加できている	9	
⑫職員は自身の生活を優先できる環境で職務につけている	7	
⑬ヒヤリハットを記録し事故防止に役立っている	6	
⑭インシデント・アクシデント報告書を記録し報告できている	6	
	0	

カテゴリ8 自己評価を行って振り返り、及び次年度の対策方法など

不確かなこと、忘れていたことが思い出された。
緊急時のマニュアルや訓練をより高度に行いたい。

てんかんやその他急な体調変更に応じた対応をできるようにしていきたい。

判断に迷うときは報告、連絡、相談をする。
もっと職員が希望日に休みやすい体制を整えたい。